

一般社団法人日本毒性病理学会
毒性病理学専門家認定試験要項
(2026年度・第33回)

一般社団法人日本毒性病理学会
Japanese Society of Toxicologic Pathology (JSTP)

申請用紙への記入ならびに申請の方法について

1. 申請者は申請にあたり、日本毒性病理学会ホームページに掲載されている専門家認定制度のうち「専門家認定制度に関する規定」及び「毒性病理専門家認定制度運用要領」をご参照下さい。
2. 申請者は、書面審査にあたり、上記「毒性病理専門家認定制度運用要領」の第2条（毒性病理専門家認定試験の受験のための書面審査）
3. に記載されている以下の基準全てを満たしている必要があります。
 - ア 出願時にJSTP会員であり、継続または通算して3年間以上の会員歴があること。
【2026年度（第33回）試験を受験する場合】：
2023年4月30日までにご入会の方が対象です。
入会日がご不明な場合には、学会事務局へお問い合わせ下さい。
 - イ 別表の評点基準による合計点が80点以上であること。
 - ウ 学会活動、研修会参加、論文発表などを行っていること。
3. 申請者は受験資格評点の内訳表に従い、自己評点を行い自己評点用紙に記入して下さい。
4. 自己評点を証明するために必要な資料を用意し（詳細は別紙「受験申請 添付資料一覧」を参照）、付箋等を用いて通し番号を付けて下さい。
5. 受験申請用紙、受験資格自己評点用紙、添付資料（添付資料一覧表、発表論文、学会発表の一覧と主なもの[10編以内]の別刷りまたはコピー）、履歴書（同封のサンプル参照のこと、研究履歴を含む）を1セットとして、JSTP事務局（下記住所）宛に申請して下さい。
6. 受験資格は取得年を含め3年間有効とし、取得後2年間は「受験資格自己評点用紙」および「受験申請添付資料」の提出が免除されますので、該当者は「受験申請用紙」「履歴書」のみをご提出下さい。

締め切り 4月10日（金）【必着】

- ・ 受験申請受理後、資格認定委員会にて資格審査後、受験票を送付致します。
- ・ 受験料¥40,000は受験票を受け取った後お振り込み下さい。未納の場合は受験できない場合がありますのでご注意下さい。
- ・ 試験の結果につきましては後日受験者に連絡致します。お預かりした資料は返却致しません。
- ・ 認定試験に合格した場合は、改めて認定料¥20,000をお振り込み下さい。振り込みを確認後、認定証を送付致します。
- ・ 資格の更新は5年毎に行われる予定です。
- ・ 申請および受験に際し、不正が認められた場合、あるいはJSTP認定毒性病理学専門家に適格でない事由が生じた場合、認定後でもこれを取り消すことがあります。
- ・ 受験料ならびに更新料の振込先は、該当者に別途ご連絡いたします。

《日本毒性病理学会事務局》

■受験申請書類の提出先

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター内
日本毒性病理学会事務局
(TEL) : 03-6824-9370

履歴書（サンプル）※必要に応じて行を追加しご使用下さい。

氏名			(旧姓)
生年月日	年	月	日 年齢 歳
現住所	〒		
	TEL		FAX
勤務先	〒		
	TEL		FAX

学歴

年 4月	大学	学部	学科	入学
年 3月	大学	学部	学科	卒業
年 4月	大学	学部	修士課程	入学
年 3月	大学	学部	修士課程	卒業

職歴

年 月	
年 月	
	現在に至る

研究歴

年 月	
年 月	
	現在に至る

資格

加入学会

日本毒性病理学会	(年 ~ 現在に至る)

上記の通り相違ありません。

年 月 日

氏名 _____

受験申請資料一覧

氏名 _____

論文発表

[JSTP 誌掲載]

筆頭発表

- ・ (タイトル)、J.Toxicol. Pathol., Vol., No. Page, Year

共著発表

- ・ (タイトル)、J.Toxicol. Pathol., Vol., No. Page, Year

[TP、ETP または他誌への掲載]

筆頭発表

- ・ (タイトル)、(掲載誌)、Vol., No. Page, 西暦

共著発表

- ・ (タイトル)、(掲載誌)、Vol., No. Page, 西暦

学会活動

[JSTP 学会参加]

- ・ 第〇回日本毒性病理学会

[JSTP 学会発表]

筆頭発表

- ・ タイトル、(第〇回日本毒性病理学会、開催年度)

共同発表

- ・ タイトル、(第〇回日本毒性病理学会、開催年度)

[STP、ESTP または他の毒性病理関連学会参加]

- ・ 第〇回〇〇毒性病理学会

[STP、ESTP または他の毒性病理関連学会発表]

筆頭発表

- ・ タイトル、(学会名、大会名、開催年度)

共同発表

- ・ タイトル、(学会名、大会名、開催年度)

研修会への参加

- ・ 研修会名称、(開催年度)

受験資格評点の内訳および受験申請添付資料一覧

種 別	評 点 項 目	参 加	発 表	資 料	
論文発表	JTP 誌 掲載	/	20 (10) ^{注1}	別刷または写し ^{注6}	
	TP または他誌への毒性病理学関連論文 掲載		5 (2) ^{注1,2}		
学会活動	JSTP 学会 参加	10	/	学会参加証の写し ^{注3} , 講演要旨集の当該部分の写し ^{注4}	
	STP、ESTP、AUTP または他の毒性病理関連学会 参加	5			
	JSTP 学会 発表	10 (3) ^{注1}			
	STP、ESTP、AUTP または他の毒性病理関連学会 発表	5 (2) ^{注1,2}			
研修会	JSTP スライドカンファレンス, JSTP 教育セミナー 及び JSTP ミクロ問題解説-詳細版-への参加	5	/	参加証明書 ^{注5}	
	実験動物病理標本交見会, JCVP 獣医病理研修会, IATP 教育セミナー及び日中毒性病理教育セミナー STP continuing education course STP virtual continuing education course IATP symposium (ESTP congress 前日) BSTP Virtual Continuing Education Symposium への参加	3		認定証 ^{注5} , 受講証明書 ^{注5} 等	
	JCVP スライドセミナーへの参加	2			
	JSTP Webinar	1		参加証明書 ^{注5}	

JTP : Journal of Toxicologic Pathology; TP : Toxicologic Pathology; STP : Society of Toxicologic Pathology;
ESTP : European Society of Toxicologic Pathology; JCVP : 日本獣医病理学専門家協会; AUTP : Asian Union of
Toxicologic Pathology

注 1 : 発表における括弧内数字は筆頭者でない共著者/共同発表者の点数を示す。海外連携学会と JSTP がジョイント国際学会の場合、両者で発表したものとみなし合計の評点を付与する(筆頭発表:15 点、共同発表:5)。

注 2 : 言語は問わないが、英語要旨が含まれているものに限る。

注 3 : 参加証は、必ず氏名の部分もコピーすること。JSTP 参加証明書自体には氏名の記入箇所がないので、ネームカードの部分もあわせて提出すること(本人が参加したことを確認するために必要となるため)。海外連携学会と JSTP がジョイント国際学会の場合、両者に参加したものとして合計の評点を付与する(参加:15 点)。

注 4 : 講演要旨集の写しは、発表年度が分かるようにすること。

注 5 : コピー(写し)でも可。第 1 回~第 3 回ミクロ問題解説-詳細版-については、参加証明書はないので、参加した旨を記載した文書を提出すること(様式は問わない)。事務局で確認する。

注 6 : 日本語もしくは英語以外で書かれた論文の別刷を資料として添付する場合は、日本語もしくは英語の title, summary を併記すること。

日本毒性病理学会認定毒性病理学専門家

－受験資格点自己評価用紙－

種別	評点項目	件数	添付 資料 番号	自己申告点		資格認定委員会 判定	
				申告点	小計		
論文発表	JTP雑誌 掲載 (筆頭:20点/件, 共著:10点/件)	筆: 件					
		共: 件					
	TP, 他誌への毒性病理学関連論文 (筆頭:5点/件, 共著:2点/件)	筆: 件					
		共: 件					
学会活動	JSTP学会 参加(10点/件)	件					
	STP, ESTP, AUTP他、毒性病理学関連学 会 参加(5点/件)	件					
	JSTP学会 発表 (筆頭:10点/件, 共同:3点/件)	筆: 件					
		共: 件					
	STP, ESTP, AUTP他の毒性病理学関連学 会 発表(筆頭:5点/件, 共同:2点/件)	筆: 件					
		共: 件					
研修会	JSTPスライドカンファランス, JSTP教 育セミナー及びJSTPマイクロ問題解説-詳 細版-への参加 (5点/件)	件					
	実験動物病理標本交見会, JCVF獣医病理 研修会, IATP教育セミナー及び日中毒 性病理教育セミナーへの参加 STP continuing education course STP virtual continuing education course IATP symposium (ESTP congress 前日) BSTP Virtual Continuing Education Symposium (3点/件)	件					
	JCVFスライドセミナーへの参加(2点/ 件)	件					
	JSTP Webinar(1点/件)	件					
合 計							

ESTP, European Society of Toxicologic Pathology; JTP, Journal of Toxicologic Pathology; TP, Toxicologic Pathology;
AUTP: Asian Union of Toxicologic Pathology